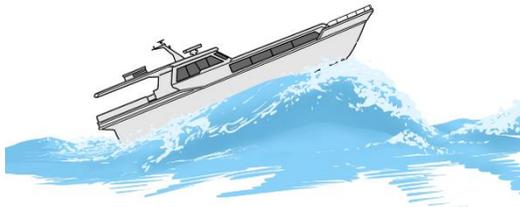


## 2. 船体上下動等による事故発生時の状況

### 2.1 事故の発生時の海象及び運航状況等

船体上下動等による事故は、船体が上下に動揺（縦揺れ）して船首が持ち上がった際、釣り客の身体が浮き上がって落下することで発生していました。



船体上下動等による事故 18 件について、事故発生時の海象及び運航状況等を分類すると、以下のことが分かりました。

#### (1) 事故時の海象

##### ① 波向

波の方向を分類すると、**ほぼ船首方から波を受けた状態で発生**していました。

(表 1 参照)

表 1 事故発生時の波向

波を受けた方向					合計
船首方	右舷船首方	左舷船首方	船尾方	不明	
11	4	2	0	1	18

単位：件

##### ② 波高

波高を分類すると、2.0m以上が7件と、高い波によって事故が発生しているほか、1.0～1.5m未満で4件、0.5～1.0m未満で1件と、**1.0m前後の波高でも事故が発生している**ことが分かります。

なお、調査報告書において波高の記載に幅があるものは、その最も小さな値として分類しています。(表 2 参照)

表 2 事故発生時の波高

波高 (m)	件数	%
0.5 未満	0	0
0.5～1.0 未満	1	6
1.0～1.5 未満	4	22
1.5～2.0 未満	3	17
2.0 以上	7	39
不明	3	17

## (2) 速力

速力を分類すると、5～10 ノット未満の速力で7件の事故が発生しているほか、「ゆっくり」、5 ノット未満の速力でそれぞれ1件と、**比較的低い速力でも多くの事故が発生していることがわかります。**

なお、調査報告書速力の記載に幅があるものは、最も小さな値として分類しています。

(表3参照)

表3 事故発生時の速力

速力 (ノット)	件数	%
ゆっくり	1	6
5 未満	1	6
5～10 未満	7	39
10～15 未満	4	22
15～20 未満	4	22
20 以上	1	6

## 2.2 釣り客の着席位置と負傷状況

船体上下動等による事故において負傷した釣り客は25人でした。

### (1) 着席位置

釣り客の着席位置を分類すると、船体の前部(船首部)において24人が負傷しており、**事故の発生は船体前部に集中していました。**

(表4参照)

表4 釣り客の着席位置

着席位置	人数	%
前部 (船首部)	24	96
中央部	1	4
後部 (船尾部)	0	0

### (2) 負傷状況

釣り客の負傷状況を分類すると、**脊椎骨折が14人と、約6割を占めていました。**

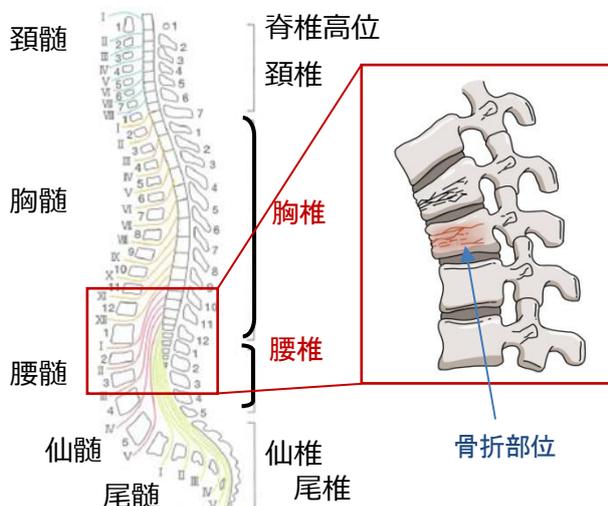
(表5参照)

表5 釣り客の負傷状況

負傷状況	人数	%
脊椎骨折	14	56
その他の骨折	7	28
打撲	3	12
その他	1	4

### 参考

**脊椎骨折**とは、脊椎が過屈曲損傷する圧迫骨折と、脊椎に垂直に軸圧がかかって損傷する破裂骨折をいい、転倒や尻もちのような衝撃や外力で受傷することがあります。



参考文献：「整形外科専門医になるための診療スタンダード第1巻 脊椎・脊髄」